

対局種別による競技規定の特例

A. 時間打ち切りのある対局における特例

時間内に半荘を終了できるように、動作をスムーズにし、過度な長考を控えて打つようにしてください。

◆省略するもの

- ・洗牌

◆競技規定と異なる手順で行うもの

- ・副露時の取牌と打牌 →どちらが先でもかまいません。
- ・投サイ →セットボタンを押した後、井桁を組む前に行ってください。
- ・リーチ棒の供託 →待たずに次の手番に移ってください。
- ・次局の開始 →正しい点棒授受が確認された後は、点棒がしまわれることを待たずに次局の開始準備に移ってください。

B. オープンタイトル戦・各種プロアマリーグにおける特例

指導注意レベルは取りません。

競技規定における小チョンボ裁定をポイント罰則のない和了放棄とします。

▼發王戦・Classic・女流名人戦・各種プロアマ等、他団体選手や一般の方が参加する対局

時間打ち切り無し：Bを適用する

時間打ち切り有り：AおよびBを適用する

関連：[「競技規定」へのリンク](#)

2023年1月26日 最高位戦日本プロ麻雀協会